

「芸術モダニズムにおけるローカリズムと反ローカリズム」講演会

講師：樋上千寿氏（西洋美術史、ユダヤ文化論）

題目：イディッシュ・サマー・ワイマール（Yiddish Summer Weimar）の実験

日時：2009年11月6日（金）16：20～18：30

場所：文学研究科ドイツ文学研究室（文学部本館4F）

<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/toyonaka.html>

概要：

ドイツ・ワイマールでは、クレズマー演奏家で音楽学者のアラン・バーン Alan Bern が中心となり、2000年から毎年夏にワークショップ「イディッシュ・サマー・ワイマール」が開催されている。このワークショップは、イディッシュ音楽（クレズマー、イディッシュ民謡、イディッシュ・ダンス）に関して、実技指導と文化的背景についてのレクチャー、シンポジウム、映画上映などを通して総合的に理解し、より水準の高い音楽文化を育てることを目的としている。また、ギリシャ音楽やロマ音楽との接触と相互の影響関係についても、演奏家や歴史家を招いての、積極的な交流が行われている。

樋上氏は、2005年と2007～2009年の4度、このワークショップに参加し、イディッシュ音楽の奏法、歴史、現状について調査すると共に、研究者のみならず演奏家との情報交換を深めてきた。その経験に基づき、イディッシュ音楽の歴史と現状、ならびにこのワークショップの意義について報告する。

講師プロフィール：

樋上千寿氏は、西洋美術史／ユダヤ文化論を専門とし、シャガールの作品に見られるユダヤ的モチーフをイディッシュ文化との関わりから研究している。また「シャガールが親しんだユダヤ音楽」という独自の観点から、美術と音楽、研究と演奏を架橋する越境的活動を展開している。2004～2006年度、大阪大学21世紀COEプログラム「インターフェイスの人文科学」特任研究員。現在、大阪大学文学研究科ドイツ文学研究室に助教代理（事務補佐）として勤務。

お問合せ先

大阪大学文学研究科 三谷研究室

Tel: 06-6850-5116

E-mail: mitanik@let.osaka-u.ac.jp